

胃癌治療の第一選択は転移の有無にかかわらず開腹手術であった。1980年代にEMRが開発され、1cm程度の小さな粘膜内癌であれば内視鏡的に切除できるようになった。しかし、1回に切除される面積が小さく、一括切除には限界があった。1990年代の後半にESDが開発され、2000年には手技が安定した。この結果、病変径や占居部位にかかわらず、正確な一括切除が可能となり、ESDの適応は徐々に拡大されてきた。しかし、どこまで適応拡大できるのか？

本主題ではESD適応拡大の是非を病理と臨床の立場から再検討した。病理は大変であった。リンパ節転移の危険因子を再検討するため、外科切除材料を用いて全例にD2-40染色を施行しリンパ管侵襲をより客観的に再評価した。また、粘液

形質を明らかにするために、各種免疫染色を施行していただいた。

臨床も大変であった。適応拡大病変に対するESDを全例再検討し、その技術的限界に関して検討していただき、またESDを開発した2施設にはESD適応拡大病変の長期予後を検討していただいた。

達人の手にかかれば、手技的にはいかなる早期胃癌でもESDによる一括切除が可能である。ではどこまで適応を拡大できるのか、適応拡大を阻止する要因は何か？ 外科、内科、病理の立場から座談会で徹底的に討論を行った。2008年の巻頭を飾るにふさわしい企画となったと自負している。精読していただきたい。

胃と腸

2月号（第43巻・第2号）予告

発売予定 2月25日
定価 2,625円

主題／消化管 GIST — 診断・治療の新展開

序 説	消化管 GIST 一診断・治療の新展開……………藤田保健衛生大学第二病院・内科	芳 野 純 治
主 題	GIST の臨床病理学的特徴と遺伝子異常……………九州大学大学院・形態機能病理	山元 英崇・他
	多発 GIST の臨床病理学的特徴……………群馬大学・応用腫瘍病理学	櫻井 信司・他
	消化管 GIST の診断と悪性度の評価—組織分類と予後からみて…福岡大学筑紫病院・病理	大重 要人・他
	消化管 GIST の診断と悪性度の評価—分子病理学的因子からみて…札幌医科大学・病理	三橋 智子・他
	消化管 GIST の診断と悪性度の評価	
	—超音波内視鏡検査と超音波内視鏡下穿刺吸引法……藤田保健衛生大学第二病院・内科	芳野 純治・他
	消化管 GIST の診断と悪性度の評価	
	—最新の画像診断……………国立がんセンター中央病院・放射線診断部	立 石 宇貴秀
	消化管 GIST の治療—外科の治療……………帝京大学・外科	松田 圭二・他
	消化管 GIST の治療—薬物療法……………大阪大学大学院・外科学講座	西 田 俊 朗
	GIST の自然史……………愛知県がんセンター中央病院・消化器内科	澤木 明・他
主題症例	4年間の経過で増大し、潰瘍形成を伴った	
	胃 GIST の1例……………九州大学大学院・病態機能内科学	工藤 哲司・他
	生検により形態変化を来した直腸 GIST の1例……………八尾市立病院・外科	森田 俊治・他
	空腸 GIST の1例—造影超音波検査所見を中心に……………大阪鉄道病院・消化器内科	森 敬弘・他
	家族性多発性 GIST の1例……………川崎医科大学・食道・胃腸内科	堅田 真司・他

胃と腸（第43巻 第1号）

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

FAX (03) 3815-7802 / 3815-7982

E-mail : itc @ igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/itcho/

2008年1月25日発行(毎月25日発行)

1部定価 2,625円(本体 2,500円 + 税 5%)

2008年 年々ぎめ予約講読料 36,410円

(増刊号 5,985円を含む13冊)(送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印刷所 永和印刷(株)

広告取扱 (有)文京メディカル

☎ (03) 3813-5001

☎ (03) 3817-8036

・早期胃癌研究会は、当研究会、早期胃癌検診協会およびエーザイ株式会社の三者の共催で行われている。

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2008, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・JCLIS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

・医学書院ホームページ(インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp>

(担当)山中・今田・天野・小松原